



発行所
一般社団法人
神奈川県造園業協会
横浜市中区常盤町2-10
伸光ビル2階 〒231-0014
電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381



<https://www.kanagawazoen.or.jp>

一般社団法人 神奈川県造園業協会創立50周年記念事業 創立50周年記念式典・記念講演・祝賀会

一般社団法人神奈川県造園業協会創立50周年「記念式典」「記念講演」「記念祝賀会（かながわのみどりを創り、育てる集い）」は、令和6年11月20日にロイヤルホールヨコハマにおいて挙行された。

○第一部記念式典

当日は、あいにくの空模様でしたが、国会議員、県議員、県・市・関係団体のご来賓の皆様と会員など約200名の方々がご臨席された。

定刻13時30分玉井副会長の司会のもと、川田副会長の開会のご挨拶により式典が始まり、主催者を代表して松倉会長から「当協会は昭和49年創立され、ここに50周年を迎えることができました。これも偏に、歴代の会長・役員の方々並びに県当局、関係諸機関の温かいご支援・指導の賜物との感謝のことばと、創立50周

年を区切りとして、社会経済の変化や技術の進化に対応しながらたゆみなく造園力の研鑽、そして造園技術の発展に取り組んでまいり所存でありますので、今後とも一層の関係各位並びに会員の皆様のご支援・指導をお願い申し上げます。」とあいさつがあり、引き続き、先の1月1日に発生した能登半島地震により被災された方々への義援金二百万円を目録を日本赤十字神奈川県支部長 現神奈川県知事黒岩祐治様に贈呈した。

続いて、黒岩祐治神奈川県知事から多年にわたり協会役員として「緑化の推進や造園技術の向上と後進の指導育成」に尽力された5名の方々に表彰状が授与された。

引き続いて、神奈川県知事からお祝いの言葉が述べられた。

続いて、七澤情報委員会委員長より記念誌発行とホームページリニューアルについて、記念事業報告がされた。

続いて会長表彰に移り、始めに長年にわたり「協会の発展に貢献された功労者58名」「技術向上と後進指導育成」のために貢献された14名の方々に対する表彰状が授与された。

続いて、それぞれの分野において長年にわたり協会の事業運営と発展のために多大なご支援とご尽力をいただいた賛助会員15社に感謝状が贈呈された。

表彰式終了後、来賓祝辞として神奈川県議会自民党文男様、横濱市副市長平原敏英様、川崎市副市長藤倉茂起様、2027国際園芸博覧会協会事務次長小池政則様、国会議員を代表して草間剛様より、協会のこれまでのみどり豊かな潤いのある環境づくりに対する敬意と「GREEN×

EXPO2027」並びに「全国都市緑化かわさきフェア」への支援と、協会の更なる発展、会員のご健勝ご発展についてお祝いの言葉が述べられた。

続いて、来賓紹介と祝電紹介後、原副会長より閉会のことばで記念式典が無事終了した。

再度来年の春に、かわさき緑化フェア春の部に続き、3年後にはこの横浜でグリーンエキスポが開かれ、横浜市と神奈川県が一体となって盛り上げていきたいと思っております。そんな中で神奈川県も出展を決定しております。ブランド、命輝くをテーマにして、命輝くためにはみどり、それがどれだけ大きな力を発揮するか、みんなで共感しあう、そんなミュージカルを作ろうと努力しているところであります。3年後に向けて共に頑張っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

本日は誠にありがとうございました。

50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

協会が創立されたのが昭和49年ということでありますが、振り返ってみますと、東京都心のスプロール現象により、郊外へと人は新たに家を求められ、都市の開拓が進められ、野山のみどりが削られ新しい地図づくりが始まった状況ではなかったと思えます。神奈川県でも新しい街づくりが始まり、その中でみどりのニーズが出てきたわけであり、そういったときに皆様方が培われた経験や知識、日頃の努力により素晴らしい街づくりが出来てきたところだと思います。

国の中でもそうした時を迎えながら新たな技術を造園の皆様方にお持ちいただきたく、多くの方々いろいろな資格をお取りいただ



黒岩祐治神奈川県知事

来賓祝辞 神奈川県知事 黒岩 祐治

一週間訪問してまいりました。その中である大きな会社を訪ねた時に「ぜひ見てください」と通されたのが屋上にあった日本庭園でありました。皆様が身近に接していらつしやるこれが日本、一瞬にして感じられるのが、この日本の庭園だなど改めて実感した次第であります。

本日は誠にありがとうございました。

50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

長い人間生活の中で休むという字は、人偏に木であるという字は、人が木に寄りかかって休むのであります。このふとした休むという空間が次なる活力になります。そうした空間を創り出す。そうした空間を創り出す。そうした空間を創り出す。そうした空間を創り出す。

来賓祝辞
神奈川県議会自民党
みどりの会会長
持田 文男



持田文男会長

くと共に自己研鑽を重ね素晴らしい今の神奈川県のみどりの礎を築いていただけましたことかと思えます。神奈川県の中も大きくみどりの空間が変わってまいりました。それはランドスケープアーキテクトをしたことで、風景、借景を利用した日本古来の技術を活かしながら、皆様方がこの神奈川県の中に素晴らしい都市空間をお作りいただいたのではないかと考えております。

50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

長い人間生活の中で休むという字は、人偏に木であるという字は、人が木に寄りかかって休むのであります。このふとした休むという空間が次なる活力になります。そうした空間を創り出す。そうした空間を創り出す。そうした空間を創り出す。そうした空間を創り出す。

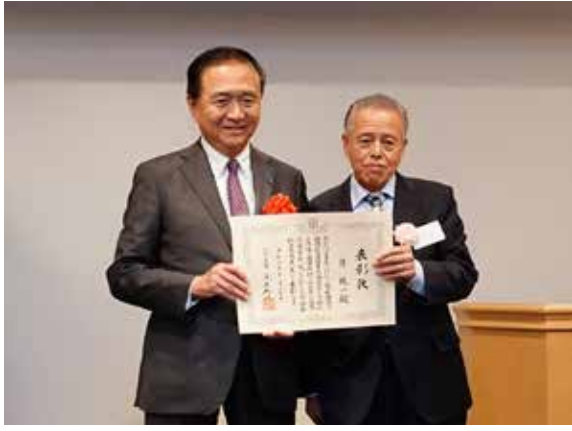


能登半島地震義援金目録贈呈



主催者代表挨拶 松倉 仁会長

受賞・来賓 スナップ



神奈川県知事表彰状授与
岸 純一様



神奈川県知事表彰状授与
川田秀一様



神奈川県知事表彰状授与
瀧川隆雄様



会長表彰「協会組織の充実と事業発展」代表
小山俊一様



神奈川県知事表彰状授与
鳥海 務様



神奈川県知事表彰状授与
金子篤司様



祝辞
横浜市副市長 平原敏英様



「賛助会員感謝状」代表
美浜建機株式会社



会長表彰「技術向上と後進指導育成」代表
荒川昭男様



祝辞
国会議員代表 草間 剛様



祝辞
2027国際園芸博覧会協会 事務次長 小池政則様



祝辞
川崎市副市長 藤倉茂起様

○第二部記念講演

原田満久公園緑地部会相
談役兼50周年準備委員会委
員長の主催者挨拶により講
演会が始まり、東京都大
学特別教授、岐阜県立森林
アカデミー学長、2027
国際園芸博覧会チエア
パーソン涌井史郎氏から
「(GREEN×EXPO2027)
がもたらす造園領
域への新たな期
待」という演題
で、講話とプロジェ
クターにより講演
があり、講演終了
後足立原副会長か
らの謝辞と閉会の
ことばで講演会は
盛況裡に終了した。



原田満久主催者挨拶

「(GREEN×EXPO2027)がもたらす
造園領域への新たな期待！」について

講師：涌井史郎氏



涌井史郎氏

の中をどう変えよ
うとしているのか、
あるいはこの世の
中を若い人達が同
じように、持続的に
地球環境の恩恵に
預かっていけるの
かという構造を、ど
う社会に提案する
のかがこの博覧会
の大きな意味であ
ります。

— ** —

NBS (ネイチャーベース
ドソリューション) 持続可
能な共生への社会

この博覧会を成功させる
には、私は博覧会が終わっ
たら終わりではなく、そ
こから新しいものが始まる
という気概で博覧会に臨む
ことを常日頃申し上げてお
ります。

このグリーンエキスポ
2027は一つのお祭りでは
ありませんが、このお祭り
以降我々造園界は、この世

自然を主体にして社会の
ことを考えていくという発
想の基に、世界を変えてい
こうということのCOP15
という世界主要国が集まっ

あり、これがもたらす気候
変動が非常に危ない社会を
作っている。(生物多様性
条約、気候変動枠組条約)

この2つの条約を糧にし
ながら、プラネタリーバウ
ンダリーという地球環境の
限界に近づかされてしまう
要素が高いということを、
1992年の環境サミット
で宣言されたが、いまだに
地球の状態は全然良くなっ
ていない。つまり我々は危
機的な状況にあるんだとい
う認識を社会が共有しなく
てはダメです。それは環境
問題に連動する社会構造の
大変革を図る以外ない。地
球の資源は有限であつて無
限ではない。その中で一番
重要な働きをしているのが
生き物です。その生き物を
いかに大事にしていくかと
いうことが、地球が破綻し
ない未来をブレイクスルー
する大きなポイントなんで
す。それを英語で表現する
とネイチャーポジティブと
いう表現です。つまり陰に
隠れていた自然の効果、能
力、こういうものを反転さ
せて一番に考えていくこと
が非常に重要と捉えていく
社会。

で、持続的な地球の未来を
考える上で、なにか一番重
要なのか論点の生物多様性
について開かれた国際会議
の中で議決されたのがNBS
Sであります。生物多様性
委員会が目指す2050年
最終目標は、自然と共生す
る社会が改めて訪れるよう
な世界にしていこうという
意味合いです。こう考えま
すと造園業というのは端っ
こに在る産業ではなく、こ
れから真ん中にあるんだ
と考えていただきたいと思
います。

(これ以降、自然共生に繋
がる事例を挙げての説明、
内容については省略)

— ** —

生物多様性を潰すような
要素に二酸化炭素の増加が

た。
(グリーンインフラ、緑の
食料システム戦略、美しい
風景、自然災害等事例を挙
げての説明、内容について
は省略)

— ** —

人間の幸福感ウエルビー
イング、そして成長ではな
く成熟というキーワードで
大きくまとまることがいい
んじゃないかと、一つ一つが
個性をもってその地域の美
しさなり文化を表現してい
く、そういう国土構造が一
番望ましい。これをマイク
ロコモンズという。

そこで我々は素晴らしい

みどりが持つ機能、花が持
つ機能をしっかり位置づけ
ようということ、ネイ
チャーポジティブに基づ
き、幸せを作る明日の風景
をつくらうと考えているの
が、この博覧会の大きなポ
イントです。

(これまでの博覧会の目的・
特徴について、最初の博覧
会ロンドン、パリ、次にア
メリカシカゴ万博、次に大
阪万博、次に浜松の愛・地
球博での目的・特徴の説明、
内容については省略)
今度の横浜博覧会の特徴
は、市民一人一人が環境問
題に目覚めて花や緑を愛し
て、そして自然共生という
哲学を身につけて盛り上げ

ていく博覧会にしようと
思っています。
このグリーンエキスポは
みどりで繋がるグリーンコ
ミュニティの実験上、みど
りで繋がって新しい共助の
世界をどう世界に示すのか
が大きな使命であり、それ
が結果として幸せというも
のをつくる明日の風景にな
るんじゃないかと考えて
おります。

この博覧会はリアルな会
場とバーチャルな会場との
二重構造、自然に学ぶとい
う謙虚な姿勢で自然を理解
し、それが地球とともに生
きる地球環境市民という概
念をつくりながら持続的未
来、幸せをつくる明日の風

景を実現しようとするの
が、この博覧会と思つてく
ださい。
未来の研究拠点になる可
能性を作りながら、横浜か
ら科学的にも未来を展望す
るエリアができたらしい
なつてというのが私の夢であ
ります。



足立原副会長より謝辞と閉会の挨拶



講演会の様子

○第三部記念祝賀会

(かながわのみどりを創り、育てる集い)

祝賀会は、川田副会長の開宴のことで始まり、松倉会長の謝辞に続いて神奈川県副知事橋本和也様、神奈川県議会議員柳下剛様、国会議員の坂井学国家公安委員長・内閣府特命担当大臣(防災・海洋政策)様から祝辞の後、神奈川県議会自民党みどりの会石川巧議

員より出席議員の紹介があり、代表して嶋村ただし副会長から祝辞が述べられました。

引き続き、佐藤光茅ヶ崎市長様より祝辞があり、続いて、祝電紹介後、西山県土整備局長の乾杯の音頭で祝宴が始まり、協会のこれまでの歴史やそれぞれの思い出や出来事など和やかな懇談の中、創立50周年を祝っていたいだいた。懇談中、横浜弘明寺町つ

子囃子連の皆様により協会50周年を記念して、「歓迎囃子、壽獅子舞と五人囃子」が力強い演奏と獅子舞と五人囃子を楽しんでいただいた。

最後に、玉井副会長の閉会のあいさつで祝賀会を含むすべての行事が無事終了した。



佐藤 光茅ヶ崎市長挨拶



橋本和也神奈川県副知事挨拶



西山県土整備局長乾杯の音頭



嶋村ただし神奈川県議会自民党みどりの会副会長挨拶



五人囃子



壽獅子舞



祝賀会の様子



五十周年式典・講演・祝賀会準備委員会の皆様

来賓祝辞

神奈川県議会議員

柳下 剛



柳下 剛氏

度造園業界の皆様方の活躍されている場面を拝見しております。

本日は神奈川県造園業協会創立50周年誠におめでとうございます。

私は5月の会から議長に就任し、最近では全国都市緑化かわさきフェアの式典にお招きいただき、その都

また、グリーンエキスポ2027が上瀬谷を会場に開催され、皆様方の活躍となるグリーンエキスポにおいては、神奈川県としても皆様方のお力を借りないという万博で実現できないという万博で

私から祝辞とさせていただきます。

来賓祝辞

衆議院議員 国家公安委員長・内閣府特命担当大臣(防災・海洋政策)

坂井 学



坂井 学氏

ますので、その時も含めてよろしく願い申し上げます。また、先程松倉会長からお話があった能登半島地震に対してお多大なご寄付をいただいたことにも、ご協力感謝申し上げたいと思

本日は神奈川県造園業協会創立50周年誠におめでとうございます。

常日頃から大変我々もお世話になっております。私現在国家公安委員長・防災大臣をやっております、重機をお持ちの造園業の皆様方には、いざ災害の時にはお世話にならうかと思

私は今回大臣職をいただきましたので、党の役職はすべて一旦離れるということになります。グリーンエキスポ2027の特命担当委員長として自民党の花博グリーンエキスポの窓口兼責任者を離れなければならないことになり非常に残

添えさせていただきます。思っております。

私の地元緑区ということで、私のキャッチフレーズ「努緑」努めるみどりということでやっております。

常日頃からこの努緑を使っておりますが、本当に造園業の皆様方とは近い関係ということで身近に感じております。今までいろんなご要望をいただきながら県議会としても前に進めようと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。開催まで二年半を切った中で、どんな計画も具体化してまいりますし、具体的に動かしてまいります。具体的には我々自民党の議員も援助してきたところがございますが、これからは出番が多くなると思っております。神奈川県議員も全力をあげて一丸となってお支えしていこうと思っております。

ですので、横浜のみならず神奈川県全体の造園業の皆様方のご協力をいただかなければならないと思っております。引き続き宜しくお願い申し上げます。本日はおめでとうございます。

令和七年 神奈川県造園人 賀詞交換会開催

神奈川県内の造園・緑地整備に携わる業界人や行政関係者百五十名が参加し、「神奈川県造園人賀詞交換会」が一月十四日、ロイヤルホールヨコハマで開かれました。

冒頭、世話人を代表して松倉神奈川県造園業協会会長の挨拶に続き、黒岩祐治神奈川県知事より祝辞が述べられ、続いて柳下剛神奈川県議会議長の祝辞に続き、持田文男神奈川県議会自民党みどりの会会長より力強い励ましの言葉を頂き、続いて河村正人2027年国際園芸博覧会協会事務総長より博覧会の紹介と挨拶に続き、木村博彦川崎市緑化推進室長より全国都市緑化かわさきフェアの紹介と乾杯の発声後懇談に移り、今年一年の期待と近況が語られ和やかに懇談が深まりました。

神奈川県知事

黒岩 祐治



神奈川県造園人賀詞交換会が盛大に開かれまして誠に
おめでとございます。

いよいよグリーンエキスポが近づいてまいりました。その中で昨年の秋には全国都市緑化かわさきフェア、秋の部、そしてこの春には春の部が開かれます。造園人の皆様にとつてはいよいよという時代ではないでしょうか。

神奈川県も河村総長より全面に出てくれと言われており、早々に出展を決めました。その中でミュージカルのショーも作ろうと話め

ているところで。かつての大阪万博で宮城まり子さんがやっていったミュージカルショーのイメージで、花とみどりのグリーンエキスポに相応しいミュージカルショーを展開しようと思っております。神奈川県内全体で盛り上げるために、県立高校も一緒になってやっていこうとギアをいれているところなんです。

造園人の皆様と共にグリーンエキスポを盛り上げてまいりましょう。よろしくお願いたします。

神奈川県議会議長

柳下 剛



新春にあたり松倉会長をはじめ造園界の皆様方には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また平素から県政の推進にあたりましてご支援ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年5月の会から議長に就任し、全国都市緑化かわさきフェアにおよびいただき、業界の皆様方のご活躍をこの目で見て参りました。また、2年後には園芸博覧会も控えております。なお一層、都市緑化の環境整備等々、皆様方のお力を借りながら街づくりに努めて参りたいと思っておりますので、何卒ご支援をお願い申し上げます。

今年に入っても相変わらずの物価高騰や燃料高、また、いろんな業界でも人材不足などの問題がありますが、私達県議会においてもしっかりと議論をした上で様々な課題に取り組んでまいります。

また、県議会一丸となつて2年後の園芸博覧会にも

力を注いで参る所存でございますので、この一年が造園業界の皆様方にとって素晴らしい一年となるようご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

また、私はその先にありますものは、子供達がいろんな経験を重ねていただいで、子供達がこのレガシイというものを、大人社会で発揮していただきたいと思っておりますので、こんな場面づくりに向けて、我々自民党県議会46人、みどりの会といたしまして微力ではありますが、行政の皆様と共に努力を重ねて参りたいと思っております。

神奈川県議会自民党みどりの会会長

持田 文男



そして、皆様方の産業あるいはご家庭のご繁栄の中で癒される令和7年であり、また、心を祈念して祝辞とさせていただきます。

昨年5月の会から議長に就任し、全国都市緑化かわさきフェアにおよびいただき、業界の皆様方のご活躍をこの目で見て参りました。また、2年後には園芸博覧会も控えております。なお一層、都市緑化の環境整備等々、皆様方のお力を借りながら街づくりに努めて参りたいと思っておりますので、何卒ご支援をお願い申し上げます。

また、県議会一丸となつて2年後の園芸博覧会にも

神奈川県内の造園・緑地整備に携わる業界人や行政関係者百五十名が参加し、「神奈川県造園人賀詞交換会」が一月十四日、ロイヤルホールヨコハマで開かれました。

また、私はその先にありますものは、子供達がいろんな経験を重ねていただいで、子供達がこのレガシイというものを、大人社会で発揮していただきたいと思っておりますので、こんな場面づくりに向けて、我々自民党県議会46人、みどりの会といたしまして微力ではありますが、行政の皆様と共に努力を重ねて参りたいと思っております。

そして、皆様方の産業あるいはご家庭のご繁栄の中で癒される令和7年であり、また、心を祈念して祝辞とさせていただきます。

昨年5月の会から議長に就任し、全国都市緑化かわさきフェアにおよびいただき、業界の皆様方のご活躍をこの目で見て参りました。また、2年後には園芸博覧会も控えております。なお一層、都市緑化の環境整備等々、皆様方のお力を借りながら街づくりに努めて参りたいと思っておりますので、何卒ご支援をお願い申し上げます。

国際園芸博覧会協会

河村正人 事務総長



また、私はその先にありますものは、子供達がいろんな経験を重ねていただいで、子供達がこのレガシイというものを、大人社会で発揮していただきたいと思っておりますので、こんな場面づくりに向けて、我々自民党県議会46人、みどりの会といたしまして微力ではありますが、行政の皆様と共に努力を重ねて参りたいと思っております。

そして、皆様方の産業あるいはご家庭のご繁栄の中で癒される令和7年であり、また、心を祈念して祝辞とさせていただきます。

昨年5月の会から議長に就任し、全国都市緑化かわさきフェアにおよびいただき、業界の皆様方のご活躍をこの目で見て参りました。また、2年後には園芸博覧会も控えております。なお一層、都市緑化の環境整備等々、皆様方のお力を借りながら街づくりに努めて参りたいと思っておりますので、何卒ご支援をお願い申し上げます。

川崎市緑化推進室長

木村 博彦



全国都市緑化かわさきフェア秋開催を無事終了す

ることができました。会期中の様々なご支援ご尽力の賜物と感謝申し上げます。これを一つのステップとして、今回のかわさきフェア2季開催、3月22日からの春開催の準備をしているところで。

私共としましてはかわさきフェアの成功、その先のグリーンエキスポ2027を通して、神奈川県造園業界の益々の繁栄を祈念すると共に、本日ご臨席の皆様のご健勝を祈念して乾杯いたします。



懇談の様子



全国都市緑化かわさきフェア 神造協出展作品
施工：一造園土木(株)

造園技能士コースを終えて

令和6年度の「普通職業訓練短期過程造園技能士(1・2級)コースが修了した。昨年の十月からスタートして毎週土曜日15日間の

102時間をかけた講習会は、職業能力促進法に基づき、「より高度の技術を習得し」その職業に必要な技能を補充」することを目的とされている。

協会会議室で修了式が2月22日(土)に行われ、1級2名、2級2名に修了証書が渡された。

受講生の声

1級受講生 尾上紘迪

毎週楽しみにしております

した。教科書の内容は勿論ですが、先生方の実体験を踏まえた豆知識がこれからの自分の仕事に活きていくと感じます。

1級受講生 栗原和也

今回102時間講習を受けて感じた事は、資格というものは取って終わりではなく、資格を維持していくものだと思っております。今回の102時間講習を受けて、色々な講師の方々がいたから頑張れたと思います。今回の講習は

自分を成長させる機会を与えてくれたと思います。資格そのものが自分に利益を運んでくれる存在ではありませんが、必ずステップアップするチャンスはあると思います。造園業でこれから頑張ろうと思う方は、是非102時間講習を受講する事をお勧めしたいと思います。

2級受講生 河原貴彦

この度は、造園技能士コース2級を受講させて頂きありがとうございました。教わったことを実務で生かしていきたいと思っております。

2級受講生 手塚朋洋

造園技能士コースを受講して、改めて造園という分野が幅広く感じました。現場は木を剪定したり、草刈りなどの実務が中心なので、測量や石を用いた庭造りの方法など学ばせて頂きとても勉強になりました。今回、造園の歴史を知り、歴史のある庭園や近代庭園の見方が一層面白くなりました。



内藤教育研修委員会委員長挨拶



神奈川県職業能力開発協会会長賞授与



岩崎神奈川県職業能力開発協会共同訓練委員会委員長挨拶



大谷講師より訓練総評



修了証交付



神奈川県造園業協会会長賞授与



修了式答辞



講師及び修了生

各ご担当の講師の方々から技能士のお話しはもちろんの事、仕事への向上することも聞くことができました。技能講習の経験を基に仕事や生活に役立てていきたいと思っております。

病害虫防除講習会

協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で、二月五日、神奈川県民センターにおいて、第二回病害虫防除講習会が実施され、総勢六十八名(造園業協会関係三十名)が参加、三時間に亘り「農業取締法と適正使用」「人や環境へのリスク低減に配慮した樹木類の病害虫防除について」「近年発生が懸念される樹木類の病害虫について」の講義が行われました。この講習会は農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の

大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所等が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会であった講習会終了後出席者には「修了証」が手渡されました。



病害虫防除講習会の様子

教育研修委員会活動報告

「川島一平の間柱に しませんか」

副委員長 若井 利允

教育研修委員会では、令和6年度の第4回中が広がる造園人養成講座として「川島一平の間柱にしませんか？」を令和7年2月7日(金)に、戸塚区の善了寺境内にある「こよりどうカフェ」に場所をお借りして開催いたしました。講座のタイトルにある間柱とは職人の隠語で一服の事を言います。本年度4回目となる講座では、今までは少し趣を変え昔懐かしい庭職の仕事の有り様を語る夕べを催しました。今回の講座では20名の方にご参加いただき、精進料理と美味しいお酒をいただきながら、川島先生の若い頃のお話しや昔の職人あるあるなど、面白おかしくも魅力ある職人の話に楽しいひと時を過ごす事ができました。

公園緑地部会活動報告

「伐木等の業務」 「小型移動式クレーン運転技能講習会」 「玉掛け技能講習会」の開催

技術研修委員会委員長 富永 淳司

神奈川県造園業協会 公園緑地部会 技術研修委員会では、造園業に必要な資格及び講習会の実施計画を立てています。

「伐木等の業務」の講習会を昨年(金)の11月27日(水)から29日(金)の3日間(株)PCT神奈川あやせ教室

で、26名の参加を得て開催しました。引き続き「小型移動式クレーン運転技能講習」を1月22日(水)から24日(金)の3日間、20名の参加を得て開催しました。引き続き「玉掛け技能講習」を2月4日(火)から

6日(木)の3日間、18名の参加を得て開催しました。

公園緑地部会では、新年度も協会員に対して造園業に必要な資格の取得を目指す為、講習会の開催を計画してまいります。



伐木等の業務講習会の様子



移動式クレーン運転技能講習会の様子



玉掛け技能講習会の様子



こよりどうカフェ



川島一平氏講座



松倉会長挨拶



小山相談役閉会の挨拶



懇談の様子

超小型軽量伐木アタッチメント

造園業/竹林伐向け



商品名: TMK150
重量: 約85kgs
最大伐倒径: 15cm
適用重機: 最小1トンから最大4トン
機能: 油圧による木材の切断

チェンソー作業の代替に最適です

- 作業時間、作業人員の軽減
- 安全作業かつ運転時静音性高
- 細かい木くずが出にくい、現場掃除容易


 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービルディング2階
 TEL:03-6259-5673 FAX:03-6259-5719 URL: https://www.sojitz-mac.com

作庭塾「庭守」の活動報告

中谷 徹

庭守座学講習会
作庭塾庭守座学講習会
(1/25)

2025年最初の活動として庭守では西林寺中庭工事にて土塀講習会を1月12日(日)に開催しました。昔から伝わる土塀には塗塀、築地塀(版築)、練塀があります。今回の講習会では塗塀(大塀)をつくりました。土塀のメリットはやはり自然素材でつくる味わい深い雰囲気と経年劣

化の変化、また竹垣よりも耐久性があり補修が可能、そして何より安価な材料で作ることができることでしよう。その反面、デメリットは手間暇がかかり工賃が高値になるということです。が、それでも根強い人気で魅力的なものとして今日に引き継がれ、庭づくりにおいて欠かせないアイテムにな

なっています。講習会では昨年の10月6日、13日に小舞竹まで仕上げた状態から最後の仕上げ作業である塗壁を配合から学び、実際に素手で感触を確かめながら体験して頂きました。土塀のネタとなる練り土は赤土と砂、藁を適度な分量で練り、予め仮置き場

にて保管し約半年寝かせ藁を発酵させることで耐候性を促進させます。そしてその練り土を講習会にてさらに真砂土と菜種油、適量な水量にて再度攪拌して小舞竹に投げ付け、しっかりとコテで仕上げました。今回は荒壁仕上げなため、多少のヒビ割れも想定内です。ただ早期乾

燥を避けるためしっかりとシート養生することで大きなヒビ割れを防ぎ、2〜3週間後にどんな表情が見れるのか観察します。多くの人の手が加わり、共にひとつのものをつくり上げる土塀はつくり手の協調性を高めるものとして後世に伝えていきたいものです。

2025年1月25日に行われた庭守座学講習会では、先日(1/12)の西林寺土塀講習会の結果報告と反省点を私なりの見解でお伝えしました。どんな作業でも作業前に準備や対策を考えて作業を行います。必ずと言っていい程その都度反省点や課題が生まれます。今回の土

塀づくりでもいくつかの反省点や課題が生まれ、皆と協議する良い機会となりました。結果報告として、今回は荒壁仕上げだったのである程度のひび割れは想定しておりましたが思いのほか多くのひび割れが生じてしまいました。早期乾燥を避けるため通気性の良いシートですっかり養生したにもかかわらずその様な結果でした。荒壁の仕上げ方を櫛引仕上げにしてみましたので必要であれば中途仕上げに対応

できるようにしてみました。大きなひび割れの原因として塗壁の際に練り置き土に加える砂の量が少なかつたということが考えられます。過去の土塀づくりでも砂の量はかなり重要であると認識していたため今回の原因もおそらく同じなかと。そうした点を踏まえ今回の座学では皆の意見を聞き、そうした改善策を考える良い機会となりました。所詮、土に藁と砂と油、水を混ぜたもの、砂とセメントと水を混ぜたモルタルとは異なり扱いがとて



2025年2月19日現況2



2025年2月19日現況1



ヒビ状況2



ヒビ状況1

も難しいことに改めて気付かされました。そして少しでも質を高めた土塀づくりするためにも、この反省点や課題を真摯に受け止め次に繋がるようひとりひとりが自覚し再度チャレンジすることが大事なかと思えます。失敗は成功の基、昔の人は良き言葉を残してくれました。その言葉を肝に銘じ、今回はこのひび割れ補修するのではなく、中途仕上げをする方向で皆と協議しました。ここでも新たなチャレンジと体験ができるためまた再び土塀講習会(中途仕上げ)をここ西林寺で行いたいと思います。最後にこのような機会を頂いたことに感謝するとともに、造園業界の更なる発展に繋がるよう精進して参りたいと思います。有難うございました。

庭咲桜(にわさくら)

中谷 徹

支部だより

戸塚支部 名木古木 研修会

情報委員 七澤久信

戸塚支部では毎年恒例となりまして名木古木研修会を開催いたしました。



ホテルからの眺望



ホテル前で集合写真

今年度は河津桜祭りに合わせて2月7～8日にかけて河津桜、稲取、熱川、伊豆高原、伊東、熱海を巡りました。道中事故の影響で135号線が通行止めになるというアクシデントもありましたが正午過ぎに河津到着。

当日は2月とは思えない穏やかな陽気ではありませんでしたが、楽しみ



杉柁別命神社のオオクス



葛見神社のオオクス

旅行では絶対に行かない、地元の人しか行かないような小さな神社仏閣にある名木古木を見つけた時に少し得した気分になるのは私だけでしょうか。

河津では桜のほかにも杉柁別命(すぎほこわけのみこと)神社のオオクス(樹齢千年以上)新町の大ソテツ(樹齢千年以上)「峰の温泉大噴湯」にも寄り道して迫力ある噴き上げを見学してきました。



河津桜原木開花状況

本来ならば稲取に寄り済広寺の力ヤを見学する予定でしたが朝の事故による遅延が影響し時間的に見学する事が叶いませんでした。宿泊先の熱川のホテルでは水平線をも見渡せる素晴らしいロケーションの中、大いに懇親を深める事が出来ました。



新町の大ソテツ

新町の大ソテツは根本より数本の太支幹に枝分かれし、更に数十本の小枝が延びる姿はさながら大蛇のように見えますが、その樹勢は弱く少し痛々しくも思えました。

その後最誓寺のソテツ(根回4・9m・樹高5・8m)、音無神社のタブノキ(目通4・1m・樹高12m、目通3・5m・樹木14m)を見学し比波預天神のホルトの木へ向かいましたが、残念ながらホルトの木は根すら残っておりませんでした。

最後に来宮神社のオオクスを見学しました。来宮神社のオオクス(周囲23・9m・樹高26m以上)は樹齢二千年以上となっており、今もお樹勢は衰えず延命長寿の象徴とされているそうです。樹木の大きさにも圧倒されますが、それ以上に全てが「映え」を意識した境内に改修されており、外国人や若い人が多いのにも驚かされました。



来宮神社のオオクス

2日目は蓮着寺の松及びヤマモモから始まります。情報古くは古松は伐採されており切株のみが残っていました。ヤマモモは根回り7・2m・樹高15m・葉張東西22mありヤマモモでは国内最大級との事です。次に訪れた葛見神社のオオクス(樹齢千年以上)は

伊豆方面は行き尽くした感がありましたが、調べてみるとまだまだ「隠れ名木」があります。

●会員等名簿の変更● (ホームページ参照)

新入会員

- 川崎支部
川崎緑化株
住所 〒216-0013 川崎市宮前区潮見台6番5号
代表者 吉田勝彦
TEL 044-976-1642 FAX 044-977-5560
E-mail corp@kawasaki-ryokuka.jp
URL https://www.kawasaki-ryokuka.jp
- 県央支部
株海老名造園
住所 〒243-0406 海老名市国分北4-13-5
代表者 石塚 悟
TEL 046-234-0177 FAX 046-234-0177
E-mail eblnazouen@outlook.jp
- 賛助会員
双日マシナリー株 <資材関係/機械輸入・販売>
住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1
代表者 松本幸久
TEL 03-6259-5652 FAX 03-6259-5719
URL https://www.machinery.sojitz.com
- 株東和 <資材関係/建設資材販売>
住所 〒231-0055 横浜市中区末吉町3-52
代表者 片山俊也
TEL 045-261-8101 FAX 045-252-6848

代表者変更

- 戸塚支部
株鈴木農園 代表者 (旧) 鈴木幸子 → (新) 鈴木聡子
- 県北支部
京浜美業株 代表者 (旧) 大浪義春 → (新) 奥津尊男

住所・代表者変更

- 戸塚支部
大黒屋三枝木ガーデン株
代表者変更 (旧) 三枝木伸夫 → (新) 三枝木寛也
〒244-0803 横浜市戸塚区平戸町328-1
URL https://www.ds-garden.com/
- 賛助会員
リコージャパン株神奈川支社
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-6-2 みなとみらいランドセントラルタワー 5F
代表者 仁井健二
TEL 045-227-3600 FAX 045-227-2230

事務局情報

(月間行事一覧)

●諸会議その他●

月 日	概 要
4/ 7 (月) ～ 17 (木)	造園技能検定申請受付 8:30～16:00
4/10 (木)	公園緑地部会監査 14:30～ 公園緑地部会 15:00～
4/11 (金)	造園技能検定指導員・検定委員・補佐員合同会議 15:00～
4/18 (金)	労働保険事務組合理事会 16:00～
4/21 (月)	協同組合三役会議 14:00～ 協同組合理事会 15:00～
4/25 (金)	正副会長選考会議 15:00～
5/ 7 (水) ～ 9 (金)	労働保険事務組合年度更新
5/ 8 (木)	総務・厚生委員会 15:00～
5/ 9 (金)	協会監査 14:00～ 協同組合監査 15:00～
5/12 (月)	協会三役会議 14:00～ 協会理事会 15:00～
5/13 (火)	協同組合三役会議 14:00～ 協同組合理事会 15:00～
5/30 (金)	協同組合総会 11:00～ 街路樹フォトコンテスト表彰式 13:00～ 日造協神奈川支部総会 13:30～ 協会総会 15:00～ かながわのみどりを創り、育てるつどい 17:30～

目指せ！造園技能士

令和7年度造園技能検定のお知らせ

1. 造園技能検定実施日程

実技作業試験	R 7 年 8 月 2 日(土)・8 月 3 日(日)の内のいずれか半日 ※受検者数によっては日程を調整させていただく場合がございます。
学科試験・判断(要素)テスト	[1・2級] R 7 年 8 月 24 日(日)[3級] R 7 年 7 月 13 日(日)
合格発表	[1・2級] R 7 年 10 月 1 日(金)[3級] R 7 年 8 月 29 日(金)

2. 受検申請に記入していただく事項(技能受検申請書は所定の用紙になります)

- ①受検申請者情報
氏名・生年月日・現住所・勤務先所在地・勤務先名・最終学歴・卒業等した年月
- ②受験資格(受検手数料減免)に関係する経歴及び合格状況
学歴・訓練歴・職歴(事業所名/現職・前職)・受検する検定職種に関する実務経験年数の合計年月
技能検定合格状況(合格年月日・取得地・合格番号)
- ③試験の免除
合格年月日・取得地・合格番号

3. 受検手数料について

1・2級 実技・学科とも受検 21,300 円 実技のみ受検 18,200 円 学科のみ受検 3,100 円
3級 22 才以下かつ雇用保険被保険者の方は、受検手数料が減免されます。
令和7年度技能検定の受検案内([神奈川県職業能力開発協会 \(kan-nokaikyo.or.jp\)](http://kan-nokaikyo.or.jp)) でご確認をお願いいたします。

4. 申請書の受付

受付場所・(一社)神奈川県造園業協会事務局会議室
受付期間・R 7 年 4 月 7 日(月)～17 日(木)8:30～16:00 土日はお休みです
※最終日は混雑しますので早めの提出をお願い致します。

5. 申請に必要な添付書類等

- ①受検手数料
- ②裏面に作業名(造園)、級別、氏名を明記して顔写真(縦4cm×横3cm)を試験ごとに1枚
例:実技及び学科受検者は2枚、一部合格者は1枚、両免申請者は不要
- ③免除資格のある方は証明書のコピー(一部合格、造園技能士コース、職業訓練指導員等)
- ④本人確認書類の添付について
申請者に係る運転免許証、健康保険被保険者証、マイナンバーカード(通知カードは不可)等
※個人番号が記載されている箇所は黒塗りしていただきますようお願いいたします。
- ⑤受検手数料の減免(上記3※)を受ける方は雇用保険の加入確認ができる書類

6. 実技・学科受検対策講習会等の予定について

※実技講習会1・2・3級は7月19・20日(前半)、21・22日(後半)のいずれか2日間2回に分けて
いずれも横浜農協きた総合センターで実施の予定です。(注)3級のみ判断(要素)テスト対策講習
会はありません。
※学科講習会1・2級は8月12日(火)に横浜市開港記念会館で実施の予定です。
※令和7年度認定職業訓練短期課程1・2級造園技能士コース(学科)は10月から開催の予定です。
(受講期間において80%以上の出席者に対し修了試験が行われ合格者は学科免除となります。)

[照会先] 横浜市中区常盤町 2-10 伸光ビル 2 階 (一社)神奈川県造園業協会
TEL. 045-662-1767 FAX. 045-662-4381 URL <https://www.kanagawazoen.or.jp>

	1級	2級	3級	備考	
合格証書	厚生労働大臣名	県知事名		※1	
受験資格	例(実務経験のみの場合)	7年	2年	0年(要実務経験)	※2
	例(他級合格後の場合)	2級2年、3級4年	3級合格後0年		
	必要な能力	造園の設計図に基づく造園工事の施工に必要な技能と知識			※3
試験内容	学科試験	正誤法: 25問、4肢択: 25問		正誤法: 30問	
	実技試験-製作等作業試験(課題作成)	標準3時間	標準2時間30分	標準2時間	※4
	実技試験-判断等試験(樹種名判定)	20問(10分)	15問(7分30秒)	10問(5分)	
合否判定	学科試験: 65点以上と実技試験60点以上の両方			※5	

※1: 技能士章(バッジ)はいずれも厚生労働大臣から交付。 ※2: 学歴(関連学科卒業)により0年～6年。
※3: 出題範囲細目については厚生労働省ホームページ「試験基準」参照 ※4: 打ち切り時間は標準時間+30分
※5: 実技試験の割合は製作等作業8:判断等試験2